



小倉貴久子のシリーズコンサート

《フォルテピアノの世界》

さまざまな時代や地域で生まれた作品を
当時の鍵盤楽器とともに
お届けします！il mondo del fortepiano
第3回

Kikuko Ogura

フォルテピアノの世界

小倉貴久子

Tangentenflügel
タンゲンテンフリューゲル

(Ch.G.Schröter考案のアクションによる復元楽器 久保田彰製作 2017)



ヨハン・セバスティアン・バッハ

Johann Sebastian Bach 1685-1750

アリアと種々の変奏《ゴールドベルク変奏曲》BWV988
[クラヴィーア練習曲集第4巻]

Gottfried Silbermann

ジルバーマン

(Freiberg 1746年復元楽器 久保田彰製作 2020)

~タンゲンテンフリューゲルとジルバーマンによる
《ゴールドベルク変奏曲》~2021.6.25 金 昼公演 14時開演 (13:30開場)
夜公演 19時開演 (18:30開場)

近江楽堂 東京オペラシティビル3階

全席自由 4,500円 U-25 2,500円

■チケット発売・お問い合わせ■

メヌエット・デア・フリューゲル (主催) ☎048-688-4921
mdf-ks@piano.zaq.jp https://mdf-ks.com

近江楽堂 松木アートオフィス ☎03-5353-6937

■チケット発売■

東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999
イープラス https://eplus.jp

共催：久保田チェンバロ工房

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ) / 東京藝術大学音楽学部同声会

*U-25は、25歳以下限定のチケットです。入場時に生年月日が
わかるもの(保険証・学生証など)をご提示ください。
*未就学児の入場はご遠慮ください。

[新型コロナウイルス感染予防対策について]

当公演は、定員を減じて開催します。

詳細は小倉貴久子ウェブサイト内の当公演のページをご覧ください。
開催の可否・当日券の有無などの情報も逐一ウェブサイトでご報告して
いきます。

mdf-ks.com/concerts/mondo3/

近江楽堂

京王新線「初台」駅下車、オペラシティ方面改札より3分
オペラシティビル内3階〒163-1407 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3階
Tel. 03-5353-6937 (近江楽堂 松木アートオフィス)

小倉貴久子

ファルテピアノの世界

G.ジルバーマンはザクセン地方におけるオルガンづくりの名工でした。イタリアのクリストーフォリの発明を元にフォルテピアノの製作を始め、J.S.バッハからこの進取の楽器についての意見を仰ぎます。バッハは1747年にポツダムのフリードリヒ大王に謁見した際、改良されたジルバーマンのフォルテピアノを気に入り即興演奏をしています。

タンゲンテンフリューゲルは、タンジェントを飛ばして発音させるアクションで、久保田彰氏の製作した楽器は、J.S.バッハの友人Ch.G.シュレーターの考案図を元に復元されたものです。1717年にドレスデンで発明したというシュレーターの主張が正しいとすれば、バッハのごく近くでタンゲンテンフリューゲルの試作が行われていたことになります。

この公演では、J.S.バッハと関係の深い2台の打弦鍵盤楽器を弾き分けて、傑作《ゴールドベルク変奏曲》をお楽しみいただきます。

小倉貴久子



小倉貴久子 フォルテピアノ

Kikuko Ogura

東京藝術大学を経て同大学大学院修了。アムステルダム音楽院を首席卒業。ブルージュ国際古楽コンクール・アンサンブル部門およびフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。50点以上リリースのCDの多くが各新聞紙上や「レコード芸術」誌等で推薦盤や特選盤に選出されている。文化庁芸術祭レコード部門【大賞】、ミュージック・ペンクラブ音楽賞、JXTG音楽賞を受賞。シリーズコンサート「小倉貴久子の《モーツァルトのクラヴィーアのある部屋》」全40回を2019年に完結。北とぴあでシリーズ【小倉貴久子と巡るクラシックの旅】を開催中。フォルテピアノ・アカデミー-SACLA主宰。東京藝術大学非常勤講師。

小倉貴久子のNew Disc

《ハンマークラヴィーア》

レコード芸術特選盤

朝日新聞・読売新聞・音楽現代推薦盤

L.v.ベートーヴェン

ソナタ 第27番 作品90、ソナタ 第28番 作品101

ソナタ 第29番 作品106 《ハンマークラヴィーア》

フォルテピアノ奏者小倉貴久子が2020年というベートーヴェン・メモリアル・イヤーに、後期様式と孤高様式(Einsamerstil)を確立する3曲でフォルテピアノ演奏史に残る輝かしいデンクマルを打ち建てたのだ。

(平野 昭)



第4回 予告

ピアノトリオ (ベートーヴェン&シューベルト) *Il trio d'oro*



F.Schubert



L.v.Beethoven

フォルテピアノ：小倉貴久子

ヴァイオリン：若松 夏美

チェロ：鈴木 秀美

L.v.ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 作品97 《大公》

F.シューベルト：ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 作品99 D898

使用楽器：J.ハーピヒ (1835年頃/ウィーン) 80鍵/CC~g''' 太田垣 至 修復

2021年9月30日 (木) 19時開演 (18:20開場)
五反田文化センター 音楽ホール

第4回公演のチケットは第3回公演
(2021年6月25日) のロビーで先行発売!

先行発売に限り500円引きでチケットをお買い求めいただけます。

第4回公演に登場するフォルテピアノは、1835年頃にウィーンで製作されたハーピヒ。金属の支柱など一切使われていない木製のケースのフォルテピアノは、当時の弦楽器との音色の融合が美しく、アンサンブルにおいて特別な音響を愉しむことができます。世界のピリオド楽器演奏シーンの先達、若松夏美、鈴木秀美との黄金のピアノトリオで珠玉の名作、ベートーヴェン《大公》とシューベルトのトリオをお届けします。

小倉貴久子の最新情報は：mdf-ks.com

